



令和2年 2月 7日

大町市長 牛 越 徹 様

大町市総合計画審議会
会長 岑村 修司



大町市第5次総合計画前期基本計画の進行管理について（答申）

令和元年10月31日付けで諮問を受けました大町市第5次総合計画前期基本計画の進行管理を行うため、市が実施した内部評価に基づき、本審議会による評価（外部評価）を実施した結果について、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

今後、本審議会に取りまとめた意見について、「大町市第5次総合計画」における基本構想に定める将来像「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」の実現のため、予算編成等に反映をいただくとともに、現在実施している施策や事務事業の効率性の向上、実施手法の改善など、質の高い行政サービスの提供に向け最善の努力をされるよう要望します。

1. 経緯

大町市総合計画審議会（以下「審議会」という。）は、令和元年10月31日付けで市長から諮問を受けた「大町市第5次総合計画前期基本計画」の進行管理について、4回にわたり審議会を開催し審議を行った。

2. 委員構成

会 長	岑村 修司	識見を有する者
副会長	伊藤 彰一	大町商工会議所
委 員	小野壽太郎	大北医師会
委 員	南澤 靖	大町市社会福祉協議会
委 員	中山 晴隆	大町市教育委員会
委 員	小林 平八	大町市連合自治会
委 員	降幡 幹夫	大北農業協同組合
委 員	遠藤 高弘	大町市観光協会
委 員	北澤 米子	大町市女性団体連絡協議会
委 員	田中 麻乃	北アルプス青年会議所
委 員	山本 史	大北地区労働者福祉協議会
委 員	前川 浩一	識見を有する者
委 員	平林 操	識見を有する者
委 員	大日方三郎	公募委員
委 員	縣 正明	公募委員

3. 審議経過

令和元年

10月31日	第1回審議会	
	第5次総合計画前期基本計画	行政評価
11月18日	第2回審議会	
	第5次総合計画前期基本計画	行政評価
12月24日	第3回審議会	
	第5次総合計画前期基本計画	行政評価

令和2年

1月31日	第4回審議会	
	答申案の検討	
2月 7日	答 申	

4. 審議会における意見

市長から諮問を受けた「第5次総合計画前期基本計画」の進行管理について、市から提出された内部評価票を基に令和元年10月31日から計4回にわたり外部評価を実施し、審議会の意見として取りまとめました。

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

施策目標2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供

- ・地域には本を読みたいという高齢者も多い一方、自ら本を買いに行けない方も多く聞く。移動図書館などにより本の貸出しが幅広く出来ないか検討いただきたい。
- ・郷土学習冊子の作成は大変画期的な取組みである。その冊子をベースに、地域の力を借りて再編集するなど、郷土学習における教材として幅広く活用いただきたい。
- ・地域には様々な分野におけるプロフェッショナルな人材がいる。地域や学校等へ広く情報発信することにより、活躍できる場の創出に向け取り組んでいただきたい。
- ・環境問題や新エネルギー等に関する学習の場として、エネルギー博物館を活用できないか検討いただきたい。

第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

施策目標1 商工業の振興による地域経済の活性化

- ・移住相談会では、大学卒業後に地方へ移住したいと考える若者の参加が多い。新卒採用を予定する企業情報等を移住相談会において積極的に発信いただきたい。
- ・空洞化の著しい「中心市街地」の在り方について、現状を踏まえ十分検討いただくとともに、魅力ある場所づくりに対し重点的に投資を行うことで市全体の活性化へと繋げていただきたい。
- ・市のプロモーションを担う観光課、商工労政課、まちづくり交流課の進める事業は、連携を強化し、より効果的なPRに繋がるよう取り組んでいただきたい。

- ・市街地の緑化に向けた取組みは、統一性のあるテーマや植栽により、街歩きへと繋がるような事業展開を期待する。

第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

施策目標1 健康で長生きできる社会の実現

- ・移住、定住施策を進めるうえで、安心して出産できる環境整備は大変重要である。引き続き産科医の確保に努めていただくとともに、院内助産施設等の設置についても検討を進めていただきたい。
- ・大町病院では、診療材料費等の経費節減や、不要な医療機器の売却など、これまでの経営改善に向けた取組みを継続いただき、更に大北地域の中核病院としてふさわしい設備投資を計画的に進めるとともに、専門医の確保に努めていただきたい。
- ・移住相談において、医療職の移住希望は高い傾向にある。移住担当課との連携を強化しながら、医療分野の人材確保に向けた取組みを進めていただきたい。
- ・在宅医療を行う開業医は高齢化が進んでおり、24時間体制で対応することが年々困難となる状況にある。今後も診療体制が維持できるよう、大町病院の内科医等による支援をさらに強化いただきたい。
- ・高齢者の介護予防のため、コミュニティ・スクールの取組みや民間事業者などとの連携を通じ、多様な社会参加の機会を確保いただきたい。

施策目標2 だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進

- ・障がい者スポーツ大会への参加支援にとどまらず、障がい者と地域がスポーツによる交流を通じ、互いを知り、理解する機会の創出に向けた取組みを進めるとともに、運営に際して指導者が必要となればその育成にも力を入れていただきたい。
- ・災害時住民支え合いマップは、大規模災害時に大変重要となるため、作成を行う自治会が増えるよう啓発をいただくとともに、要支援者名簿を基に作成した支え合いマップは、住民に配布可能であることについて周知いただきたい。

第5 市民の参画と協働でつくるまち

施策目標1 市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進

- ・まちづくりフォーラムのような、子どもから大人までが一堂に集い、様々な話題について話す機会は大変貴重である。幅広い年代の参加により、ひとが輝くまちづくりに向けて意見交換を行う場として継続いただきたい。
- ・将来を担う中学生・高校生が、地域のことを考え、想い、まちづくりに参画ができるような機会の創出により、郷土愛やシビックプライドの醸成に向けた取組みを進めていただきたい。
- ・八坂、美麻地域では、光ケーブルの整備が進んでいないため、過疎債等を財源として活用いただくなど、地域格差の改善に向け早急に整備を進めていただきたい。

5. まとめ

市政全般に共通して、複雑かつ高度化する市民ニーズに対応する為には、庁内における連携や、民間事業者との連携を更に推進することはもとより、様々な分野において住民の参画をすすめて、市民と行政が目標を共有し、連携したまちづくりに取り組むことが重要である。

審議会における意見、提言を市の施策や事務事業の改善、予算編成等へ積極的に反映させていただくとともに、提言で終わらせることのないよう市民の視点に立ったより効果的な行政サービスの充実に向け、前進していただきたい。

